

第 5 2 号

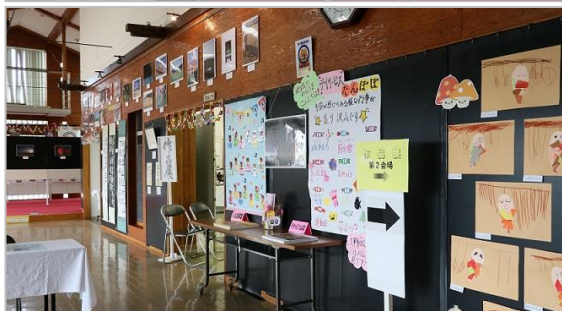
令和3年3月15日 発行
— 編集・発行 —
豊津地区まちづくり委員会
(情報発信専門部)

とよつだより

渾身の力を込めた作品がずらり
とよつまつり 作品展

十一月五日〜八日、『第二十五回とよつまつり』を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響から、開催について協議した結果、開催の日程の成果を展示・紹介する作品展のみの開催となりました。

密集・密接を避けるため、模擬店や演芸発表等がなく、館内のほぼ全体が作品展という、例年とは趣の異なるまつりとなりました。訪れた方々は公民館を利用する団体の皆さんや豊津小児童の素晴らしい作品に魅入っていました。会場の雰囲気や作品の一部を紙面でご紹介いたしますので、どうぞご覧ください。



URL

Facebook(フェイスブック) : <https://www.facebook.com/toyotsumachi>
Twitter(ツイッター) : <https://twitter.com/toyotsumachi>

QR コード Facebook



Twitter



文部科学大臣表彰を受賞

既に茨城新聞や広報かしまなどでも報じられ、ご存じの方も多いかと思いますが、豊津小学校PTA（山町浩信会長）が令和2年度優良PTA文部科学大臣表彰を受賞しました。

今回の受賞は、「とよつキッズ」や「北浦一周サイクリング」、「とよつまつり」など、豊津まちづくりセンターとPTA・子ども会育成会が連携し、長年に渡って活動している点が高く評価されたものです。



▲ 12月16日、会長と小沼校長が市教育長に受賞報告

これまで関わって
きた多くの皆さんの
実績が積み重なって
の今回の受賞です。
これに満足すること
なく、引き続き充実
した活動を展開して
いきましょう！

コミュニティプラン 完成間近！

本紙第51号で、地域のまちづくり活動の方針として「コミュニティプラン」を作成中とお知らせしましたが、まもなくできあがります。

このプランは、各地区館（１０館１２地区）がそれぞれに作り、市全体のプランとして１冊にまとめるため、かなりのボリュームになります。

4月以降、＜豊津地区版＞を各ご家庭に配布する予定です。これからの豊津を“もっと豊津らしく”、そして人と人とのつながりをより太くするためのプランとしてご覧いただきたく、一人ひとりが「**自分事・我が事**」として関心をもって活動していただくことをお願いします。

目指す地域の将来像 ～とよつ～

豊富な水と風光明媚なこの地・とよつの
環境を活用し、未来に向けて豊かな人づくり、
人と人をつなぎまちづくり

地域の魅力を再発見

好天に恵まれた11月21日、レッツウォーキング(約8km)を実施しました。巣ごもりで鈍ってしまった身体で、完歩できるか心配していた方もいましたが、JR鹿島線北側の色づいた木々を愛で、神宮樹叢内では森林浴を楽しみ、そして世間話に花を咲かせながら、公民館にゴールしました。



貴方が知らなかったい
いスポット（コース）が、市内や近隣にまだあると
思います。大勢で遠出を楽しめる状態になるには、
まだ暫くかかりそうですので、皆さんも時間を見つ
けて**地元散策**してみましょう。



＜今回のコース＞

豊津公民館～根本寺～ＪＲ鹿島
神宮駅前～神宮坂（旧・せせら
ぎ通り）～鹿島神宮大鳥居～奥
宮～鹿島中学校前～清真学園前
～御手洗口鳥居～城山公園～豊
津公民館

地域の危険個所をチェック！

2月16日、児童の下校時に合わせ、豊津小学校と合同で今年度の地域安全点検を行いました。

この事業は、通学路等に危険箇所がないかを確認するもので、今年子どもそして大人の両方の視線で確認しました。また、児童たちは、『**子どもの家110番**』に登録してある家庭や事業所にお礼状を手渡し、引き続きの協力をお願いしました。終了後は、気づいた点を整理し、市役所等の関係機関に修繕等の要望を行いました。



▲ 110 番 の 家 に お 礼



▼ 通学路を点検中

ヨガでリラックス

二月十三日と二十一日、スポーツ健康教室として、ヨガを行いました。「ヨガ」とはサンスクリット語で『つながり』を意味し、呼吸・姿勢・瞑想を組み合わせて心身のバランスを取るものです。終了後、参加した皆さんは、すっきりとした表情に
見えました。
時間や場所
を気にせず
できる軽運
動で、あな
たもリフレ
ッシュを！



*
*
つ
ぶ
や
き
*
*

新型コロナウイルスの影響で、例年通りに活動が行えず、何かと不便な日常が続いていますが、皆さんはいかがお過ごしですか？この度、豊津小PTAが優良PTA文部科学大臣表彰を受賞したという明るい話題がありました。あらためて豊津の強い絆を感じることできてうれいすね。

コロナ禍が一日でも早く解消され、交流の図れる日常が戻ってくる日が待ち遠しいです。s

